



高井戸東小学校

URL <https://suginami.schoolweb.ne.jp/13020006> / TEL 03-3304-571110月号
No. 642

互いのよさを生かして

副校長 池田 浩

朝夕の暑さが和らぎ、校庭にも心地よい秋風が吹く季節となりました。澄み渡る青空や虫の音、どこからともなく漂ってくる金木犀の香りに、秋の訪れを感じます。実りの秋を迎え、子供たちは学習や運動、多くの活動に意欲的に取り組んでいます。

本校では、合唱団の子供たちが日々練習に励んでいます。その歌声を耳にするたびに、「また上手になったな」と感じます。以前にも増して一人一人の声に力強さが加わり、全体の声量も増してきました。そして、それぞれの声が重なり合うことで、歌声の響きも日に日に豊かになっているように感じます。

合唱では、自分の声をしっかりと出すことが大切です。しかし、それだけでは美しいハーモニーにはなりません。周りの声に耳を傾け、呼吸を合わせ、互いの声を感じながら歌うことで、一人では生み出すことのできない豊かな響きが生まれます。

合唱団の子供たちの姿を見ていると、学校生活の様々な場面にも、同じような姿が見られます。

校内を歩き、子供たちの学習の様子を見ていると、自分の考えをすすんで伝える子、友達の話じっくり聞いて考えを深める子、困っている友達にそっと声をかける子など、多くの姿を目にします。得意なことも、考え方も、感じ方も一人一人違います。その違いがあるからこそ、互いに学び合い、支え合うことができるのだと思います。

授業での話し合いでは、自分とは違う考えに触れ、「そんな考え方もあるのか」と気付くことがあります。そのことが、自分の考えを広げたり深めたりすることにつながります。また、行事や係活動、異学年での活動では、それぞれが自分の役割を果たしながら、周りの様子を気を配ったり、困っている友達を支えたりする姿も見られます。

これからの社会では、多様な考えや背景をもつ人と関わりながら、自分の考えを伝え、相手の考えを受け止め、ともによりよいものをつくり出していく力がますます大切になります。子供たちには、自分のよさを大切にするとともに、友達のよさにも目を向け、互いに認め合いながら成長してほしいと願っています。

先日の学校公開には、多くの保護者・地域の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。子供たちが日頃どのように学び、友達と関わっているのかをご覧いただけたのではないかと思います。

合唱で一人一人の声が重なり合い、美しい響きが生まれるように、学校でも一人一人が自分らしさを発揮し、互いに支え合いながら、それぞれのよさを生かして成長していけるよう、私たち教職員もその成長を支えてまいります。今後とも、本校の教育活動への温かいご理解とご協力をお願いいたします。

小中一貫の取り組みについて

小中一貫担当

1 「小中合同研修会」

7月3日(金)に高井戸中・高井戸東小の教員が高井戸中学校の授業を参観し、テーマ別(生活指導・特別支援・教科等)に分かれて協議会を行いました。小中学校の教員が、お互いを知り、小学校から中学校への連携での課題や大切なことについて考える場となりました。高井戸中に進学する子が多い浜田山小、高井戸東小でテーマ別の話し合いを行い、今後の連携について見通しを持ちました。

2 「未来会議」

浜田山小・高井戸東小の代表委員会の児童数名と高井戸中の生徒会メンバーで小学校と連携している中学校でどのようなことができるかを話し合っています。昨年度は、中学生が小学生と中学生の生活の違いなどを説明してくれました。今年度も代表委員で話し合って、3校で集まる予定でしたが悪天候のため中止となってしまいました。今後どのようなことができるか話し合っていきたいと思っています。